

2026年度 工学院大学新聞会 方針

工学院大学新聞会

委員長 金子大希



1. 存在意義
工学院大学新聞会は、本学唯一の学生メディアとして、「学生による学生のためのメディア」をモットーに掲げ、学生目線で本学を外部に紹介できるように今後とも活動を続ける。また、昨年から人数が増え、よりさまざまな事に取り組みることが可能になったため、今年度は外部への紹介だけでなく、内部に向けても学生生活がより豊かになるような情報発信を行っていき、委員会として学生へ還元できるように努めていく。今後も引き続き、多くの方々に本学を知っていただけるよう尽力する。

2. 目的
「学生による学生のためのメディア」をモットーに掲げ、学生目線で本学や本学所属の学生団体を学内や学外に紹介する。

3. 活動計画

a) ウェブニュースサイトKogakuin Times
本会が運営するKogakuin Timesで、学内の行事や学生団体取材した記事を投稿し、本学や学生団体の知名度向上につなげる。また、今年度からは学生生活が豊かになるような記事を、より充実させていく。

b) 工学院大学公式note
2022年度から本学広報課とコラボし、公式noteにイベントや課外活動取材した記事を掲載している。公式noteに掲載することで、より多くの学外の人に取材した学生団体や新聞会の活動を知ってもらえる機会となる。大学側と連携し、前述のKogakuin Timesだけでは発信できないような情報を、外部へ発信していけるよう努める。

c) 動画による情報発信
各種SNS上(主にYouTubeを想定)にて、校内のイベントや学生団体について取り上げた動画を投稿し、外部へ本学の魅力を発信する。また、前項で述べた学生生活が豊かになるような記事の投稿に付随し、連動した企画動画を投稿する。

d) 学園祭の取材と生放送の運営
毎年5月に行われているプレハ王子祭、9月のハ王子祭、11月の新宿祭において、ステージ企画や模擬店、教室展示の様子を取材し、後日記事として執筆することで、参加出来なかった人にも学園祭の様子を伝える。また、9月のハ王子祭、11月の新宿祭では専用の配信ブースを設置し、特設ページの様子をYouTube上で生配信する。生配信によって学園祭の盛り上げりを外部に発信するだけでなく、本学や学生団体の魅力を発信する。生配信内の企画の間には、事前に希望を募り制作した学生団体の紹介CMを放映する。

e) 体育会広報誌JOURNI向けの写真撮影
体育会広報誌JOURNIに掲載されるインタビュー風景や試合風景などの撮影を行う。試合風景の撮影においては、それぞれの競技の魅力を伝えられるような写真の撮影を心掛ける。

f) 団体紹介動画の撮影
春の長期休暇中に、学生団体取材し、新入生にむけた団体紹介動画を制作する。完成した動画はYouTube上で投稿する。

g) 他団体からの依頼について
近年、多くの団体から広報活動に関する取材、記事執筆、写真撮影、動画制作などの依頼を受けている。それぞれの団体に合わせて活動の様子や魅力を伝えられるようなコンテンツ作成に努める。